

# 日中友好新聞

## 第72回大会を会員増で迎えよう

▼第72回「日中全国大会」が6月4日(日)に東京会場とズームとの両方で行われます。会員の増加で迎えたいと思ひます。ご協力をお願いします。

▼会員の増加はどこから、支度もさまざまな困難を抱えながらの進行です。愛知県連もここ2年は一進一退で頑張っています。

▼県連、支部もさまざまな困難を抱えながらの進行です。愛知県連もここ2年は一進一退で頑張っています。

▼これは会員名簿の整理の中で、とくに県連直属者に多くの会費の長期滞納があったので、個々に総当たりしてはつきりさせた結果です。

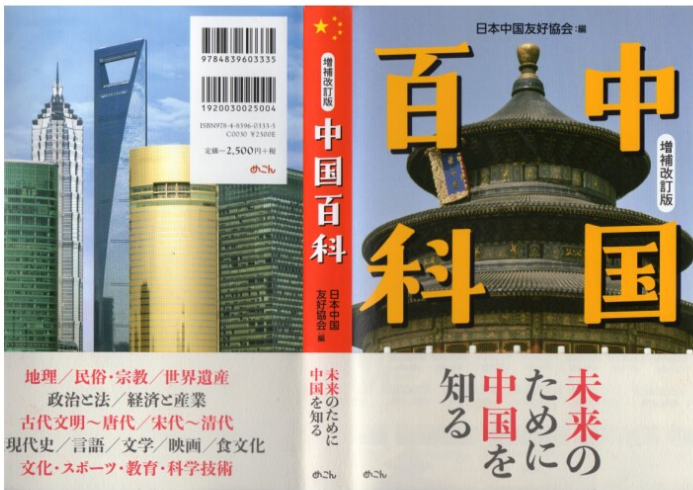
▼県連として各支部がコロナの中でも工夫して毎月の行事や学習会を組まれておられることに敬意を表します。

▼また県連主催の先日の「一九四六鑑賞の旅」は、久しぶりの行事で、大好評でした。

▼県連のホームページは森谷光夫会長が先頭に立って更新を始めた。これを認める入会や、書籍の購入、来訪者も多い。

▼なお、全国大会のズーム参加は、県連で6月4日の午前10時から視聴できるようにセッ トしますので、代議員以外のどなたでもお越しください。また自宅で視聴される場合はお問い合わせください。(木俣博)

日中友好協会  
愛知県連  
会連版第322号  
〒464-0821  
名古屋千種区  
末盛通4-18  
電話052-763-1152  
Fax 052-763-1153  
http://www.nittyu-aichi.jp  
E-mail: jc77918@amber.plala.or.jp  
郵便口座  
00890-6-25484



中国百科 未来のために中国を知る

増補改訂版

地理/民俗/宗教/世界遺産  
政治と法/経済と産業  
古代文明～唐代/宋代～清代  
現代史/言語/文学/映画/食文化  
文化・スポーツ・教育・科学技術

未来のために中国を知る

増補改訂版

第13回の「中国百科検定」は7月15日に、岐阜会場(三岐阜駅)で受験できます。ぜひご参加ください。申し込み締切は6月15日(木)です。

中国に関心があったり、中国語を学ぶ人も仕事で関わる人、また日本で暮らす中国の方にも受けていただきたい。増補改訂された公式テキスト「中国百科」は上の写真の装丁で4月中旬に売り出され、書店にも並んでいます。価格は普及を願ひ、税込み2750円です。県連でも取り扱っています。

**中国百科検定**

第13回 2023年7月15日(土) 15:00～15:50  
実施級: 初級・3級・2級

第14回 2023年12月2日(土) 15:00～15:50  
実施級: 初級・3級・2級・1級・特級

### 中国語教室の受講生を募集中です。一緒に楽しく中国語を学習しましょう。

緑支部は3月5日(日)に大高南コミュニティセンターで「日中餃子交流会」を開催しました。中国の方達と一緒に餃子を作り、食べながら交流という楽しい企画を開催しました。

任利民さんと李麗さんの指導で、餃子づくりを体験しながらの交流会で、参加者は19人(うち中国出身者6人)でした。

①皮づくり。これは、任利民さんが大活躍。生地を寝かせる間に、餃子の餡づくり。指南役の1人である李麗さんが、ニンニク、ニラ、エビなどをたきぶり入れて餡のたきぶり。中華料理店のような立派な餃子ができました。

②餃子の餡詰め。ひと段落し、④焼きの準備に入る。その間に、参加者の自己紹介。出身地の紹介では、青海省出身の任さん、西安市の李さん、天津市の任さん、河北省の任さん、雲南省の任さん。また各人の簡単な略歴や来日のきっかけなどが語られました。焼き餃子が出来上がり、皆さん一斉に食べるモードに。

▼任さん(豊田在住)は、文化大革命のため大学に行けず、来日して、三重大学に入学。そのとき日本人に良くしてもらった。大学卒業後、豊田市内の建設コンサルタンツ会社に勤めた。日本語ボランティアへの感謝と中国人へのイメージを変えたいと2004年日中交流団体「華の友」を創設。10数人を始め、今や1000人を超えています。(日本人も2割ほど)。地域のイベントで民族舞踊を披露し、餃子づくりや中国文化の紹介を通じ、日本の懸け橋を担ってきた。2013年から20年まで、黄砂がひどくなり、中国での植林活動に取り組む。2012年日本政府が尖閣諸島の国有化に踏み切ったので、植林に行ったら日本人に不快感を表す現地の人がいたが、任さんは「日本から自分のお金で植林に来たのです」と声をかけ、その場を収めたとのこと。

▼李麗さんは、1977年生まれ。世界中で日本人が一番分かり合える人と思う。「挨拶習慣・お辞儀などほかの国の人ではそうはいかないと思う」と発言。「日本に行く」と言ったとき、「反対はなかったか」との質問に、「あった」が、理解してくれ、楽しいところ行ってみたい」との気持ちが強かった。そして、李さんは、今取り組んでいる陳元賢研究会主催で4月15日の安城市の石川丈山苑での行事を紹介しました。

▼梶さんは、秦皇島の外国語学院で教える。2013年から20年まで、黄砂がひどくなり、中国での植林活動に取り組む。2012年日本政府が尖閣諸島の国有化に踏み切ったので、植林に行ったら日本人に不快感を表す現地の人がいたが、任さんは「日本から自分のお金で植林に来たのです」と声をかけ、その場を収めたとのこと。

▼小夢さんは名古屋大学博士課程の留学生(国費)で、まだ日本語に不慣れでティンティンさんの通訳で自己紹介。大理生まれの、少数民族ペー族出身。雲南大学卒業。歴史学の専攻で元・明・清の研究をしている。専門の方が日本にいたので留学した。今日のように多くの日本人と会ったのは初めて。

▼茹で上がった餃子を食べながら、日本側の参加者の自己紹介をして、その後、上田さんが、中国語で「烏鴉反哺曲」を歌った。最後に日本側全員で「七つの子」を斉唱しました。

※「緑支部ニュース」より抜粋



## 「餃子作り」で楽しく有意義な交流

本との懸け橋を担ってきた。2013年から20年まで、黄砂がひどくなり、中国での植林活動に取り組む。2012年日本政府が尖閣諸島の国有化に踏み切ったので、植林に行ったら日本人に不快感を表す現地の人がいたが、任さんは「日本から自分のお金で植林に来たのです」と声をかけ、その場を収めたとのこと。

▼李麗さんは、1977年生まれ。世界中で日本人が一番分かり合える人と思う。「挨拶習慣・お辞儀などほかの国の人ではそうはいかないと思う」と発言。「日本に行く」と言ったとき、「反対はなかったか」との質問に、「あった」が、理解してくれ、楽しいところ行ってみたい」との気持ちが強かった。そして、李さんは、今取り組んでいる陳元賢研究会主催で4月15日の安城市の石川丈山苑での行事を紹介しました。

▼梶さんは、秦皇島の外国語学院で教える。2013年から20年まで、黄砂がひどくなり、中国での植林活動に取り組む。2012年日本政府が尖閣諸島の国有化に踏み切ったので、植林に行ったら日本人に不快感を表す現地の人がいたが、任さんは「日本から自分のお金で植林に来たのです」と声をかけ、その場を収めたとのこと。

▼小夢さんは名古屋大学博士課程の留学生(国費)で、まだ日本語に不慣れでティンティンさんの通訳で自己紹介。大理生まれの、少数民族ペー族出身。雲南大学卒業。歴史学の専攻で元・明・清の研究をしている。専門の方が日本にいたので留学した。今日のように多くの日本人と会ったのは初めて。

▼茹で上がった餃子を食べながら、日本側の参加者の自己紹介をして、その後、上田さんが、中国語で「烏鴉反哺曲」を歌った。最後に日本側全員で「七つの子」を斉唱しました。

※「緑支部ニュース」より抜粋

# 母の歩いた道 ⑨-2

北村彰夫 (揖斐郡池田町)

じゃあ、お母さんは他の子どもたちと遊んだりしなかったの？

遊ばなかったわけではないよ。子どもだからね。学校の思い出とかある？

## 満州での学校生活②

そうだねえ... 学校でね、飛行機を作ったことってね。だけど、わたしや、そんなもんよう作らなうがね。それで、お父さんに相談したの。そしたら、次日の朝、針金とかで作った立派な飛行機が枕元に置いてあったんだよ。お父さんは器

満州ならではの遊びとかがあった？



そりゃ、広くて何もないとこだけども、でも子どもには広いってだけで魅力だったね。前にも話したけど、いろんな花が咲いて、それがみんな大きい。魚も鳥も日本のものとは比べもんにならないくらいに大きくなる。それに冬は寒い。だろ。だからね、そり遊びなんかしとったね。向こうは竹がないから、木の板の薄いのを

折り曲げて、その上に箱みたいなのを乗せて。今でも子どもらが堤防でそり遊びとかしてる。私らは、うんと高い丘の上でやるとこさそりを引つ張り上げて、それ！って、何十メートルも滑り降りたかと思うと、ピューンとジャンプして向こうの方まで飛んでくの。日本じゃとてもで

きんかったらうね。それにね、向こうの河は冬になると凍っちゃうと、その上を馬車やトラックが走るくらいでね。川の氷を大人たちが四角く切ってほおっておくの。それが春になると、ちよろちよろ溶けはじめてさ。そうすると、氷漬けになっとった魚やらカエルやらが、ピクッピクッと動き出すんだよ。それを子どもらがつかまえてさ。

(続きます)

# 支部だより

## ▼稲沢支部

5月21(日)午後1時半から稲沢市勤労福祉会館で講演会「陳元貫の生き様」を行います。講師は李麗さん、会費は無料です。

▼豊田支部  
5月28(日)午後10時12時に豊田支部は崇化館交流館で第29回の「知ろう、中国」カフェ(写真)を行います。今回のテーマは「南北朝時代の文化」遊牧民と農耕民の二元統治の時代」です。



参加費は200円です。は次号で掲載します。詳細は紙チラシがはいっています。

# 県連だより

## ▼県・戦争展

6月10(土)13日。パネル展「村瀬守保写真展」、ピースデー(山の日)に大西広氏の講演会を行います。



**第25回 いつか展 ~きりえ~**  
2023年6月27日(火)~7月2日(日)  
10:00~18:00(最終日は17:00まで)

名古屋市民ギャラリー栄7階第1展示室  
名古屋市中区栄四丁目1番8号  
(中区役所平和不動産共同ビル内)  
TEL: (052) 265-0461

交通: 地下鉄「栄」下車12番出口すぐ  
連絡先: 〒461-0040 名古屋東区矢田四丁目11-30 鈴木史子 TEL: (052) 711-8298

27日(火)	28日(水)	29日(木)	30日(金)	7月1日(土)	2日(日)
井根久美子	鈴木史子	榎田由美子	早瀬ふさこ	宮下紀代美	

# 中国ものしりコーナー

## 3.5. 世界の動物園にいるパンダは 中国からレンタルされている

パンダは中国だけに生息する動物であり、その希少性と見られる可愛らしさから、外交にも利用されています。日本でも複数の頭のパンダが飼育されていますが、これらのパンダは中国が所有権を持っていて、日本は中国からレンタルをしていて、世界中の動物園にも同様です。



世界のパンダ分布

日本はパンダの生育のみならず、繁殖にも成功している国であるため、貸し出しやすいです。中国と日本の契約では日本国内で生まれたパンダについて、所有権は中国側にあり、誕生から一定期間後は中国に返還することになっていて、日本がコストを負担して繁殖、生育を行って、生まれたパンダは中国側の所有権のままであるため、中国にとってもメリットが多いです。



パンダは中国に生息する動物であり、その希少性と見られる可愛らしさから、外交にも利用されています。日本でも複数の頭のパンダが飼育されていますが、これらのパンダは中国が所有権を持っていて、日本は中国からレンタルをしていて、世界中の動物園にも同様です。

